

〇〇県立〇〇高等学校_高校魅力化評価システム対話用ポートフォリオ（サンプル）

※黄色は「多様な越境機会の創出による地域課題人財育成事業」のKPIに設定している質問項目

肯定的回答率が高い項目と低い項目（①～⑤の側面の中で、肯定的回答率が最も高い項目と低い項目を抜粋）

全学年	強み（肯定的回答率が高い項目）	自校	全国	差(pt)	伸びしろ（肯定的回答率が低い項目）	自校	全国	差(pt)
①学習活動	7.グループで協力しながら学習や調べものを行う	95.6%	83.4%	12.2	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	44.0%	30.7%	13.3
②学習環境	26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し伸べてくれる	93.4%	90.8%	2.6	25.地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる	60.4%	50.1%	10.3
③自己認識	43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	92.3%	93.1%	-0.8	56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	38.5%	36.7%	1.8
④行動実績	71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	86.8%	77.0%	9.8	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	33.0%	36.1%	-3.1
⑤ウェルビーイング	84.学校の一員だと感じている	91.2%	86.1%	5.1	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	35.6%	56.3%	-20.7

1年生	強み（肯定的回答率が高い項目）	自校	全国	差(pt)	伸びしろ（肯定的回答率が低い項目）	自校	全国	差(pt)
①学習活動	7.グループで協力しながら学習や調べものを行う	100.0%	86.9%	13.1	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	30.0%	29.5%	0.5
②学習環境	28.立場や役割を超えて協働する機会がある	93.3%	93.4%	-0.1	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	63.3%	53.8%	9.5
③自己認識	43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	96.7%	93.4%	3.3	63.将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	36.7%	40.9%	-4.2
④行動実績	71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	86.7%	79.4%	7.3	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	40.0%	22.0%	18.0
⑤ウェルビーイング	90.この学校を中学生におすすめできる	93.3%	83.4%	9.9	89.日本の将来は明るいと思う	33.3%	41.8%	-8.5

2年生	強み（肯定的回答率が高い項目）	自校	全国	差(pt)	伸びしろ（肯定的回答率が低い項目）	自校	全国	差(pt)
①学習活動	8.活動、学習内容について生徒同士で話し合う	96.0%	87.8%	8.2	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	48.0%	30.3%	17.7
②学習環境	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	92.0%	56.0%	36.0	34.地域に、尊敬している・憧れている大人がいる	56.0%	51.2%	4.8
③自己認識	43.自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	92.0%	92.7%	-0.7	63.将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	32.0%	42.4%	-10.4
④行動実績	71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	88.0%	75.2%	12.8	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	32.0%	35.7%	-3.7
⑤ウェルビーイング	84.学校の一員だと感じている	92.0%	85.5%	6.5	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	19.0%	54.8%	-35.8

3年生	強み（肯定的回答率が高い項目）	自校	全国	差(pt)	伸びしろ（肯定的回答率が低い項目）	自校	全国	差(pt)
①学習活動	7.グループで協力しながら学習や調べものを行う	97.2%	78.1%	19.1	6.学校外のいろいろな人に話を聞きに行く	52.8%	32.5%	20.3
②学習環境	26.自分が何かに挑戦しようと思ったとき、周りは手を差し伸べてくれる	97.2%	90.9%	6.3	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	55.6%	54.6%	1.0
③自己認識	55.18歳選挙権を取得したら、選挙に行くと思う	91.7%	82.5%	9.2	41.複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ	30.6%	52.4%	-21.8
④行動実績	71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	86.1%	76.3%	9.8	69.いま住んでいる地域の行事に参加した	25.0%	33.0%	-8.0
⑤ウェルビーイング	84.学校の一員だと感じている	91.7%	85.6%	6.1	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	38.9%	57.5%	-18.6

全国平均と比較してポイントが高い項目と低い項目（①～⑤の側面の中で、全国平均との差が最も高い項目と低い項目を抜粋）

最も高い項目と低い項目は機械的に抜粋し、表示しているため、「強み」にマイナスが出ている項目や「伸びしろ」にプラスが出ている項目があります。

全学年	強み（全国と比較して高い項目）	差（pt）	自校	全国	伸びしろ（全国と比較して低い項目）	差（pt）	自校	全国
①学習活動	14.地域の魅力や資源について考える	34.1	81.6%	47.5%	10.自分の考えを文章や図表にまとめる	-2.4	63.7%	66.1%
②学習環境	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	27.7	83.5%	55.8%	32.自分の暮らす地域を、外からの視点で考える機会がある	-3.6	62.6%	66.2%
③自己認識	55.18歳選挙権を取得したら、選挙に行くと思う	9.3	91.2%	81.9%	56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	-18.4	61.5%	79.9%
④行動実績	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	18.2	41.8%	23.6%	76.公式やきまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした	-7.8	56.0%	63.8%
⑤ウェルビーイング	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	11.6	61.5%	49.9%	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	-20.7	35.6%	56.3%

1年生	強み（全国と比較して高い項目）	差（pt）	自校	全国	伸びしろ（全国と比較して低い項目）	差（pt）	自校	全国
①学習活動	14.地域の魅力や資源について考える	37.8	83.3%	45.5%	16.日本や世界の課題の解決方法について考える	-9.5	40.0%	49.5%
②学習環境	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	22.5	76.7%	54.2%	25.地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人がいる	-7.1	86.7%	93.8%
③自己認識	47.地域社会が動かし方に関して、主体的にテーマを設定し、フォーマルなワークを用いないで調べ、見える学習活動に対して、熱心に取り組んでいる	31.4	83.3%	51.9%	48.自分を客観的に理解することができる	-10.6	63.3%	73.9%
④行動実績	77.先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした	26.7	86.7%	60.0%	75.授業の内容について、「なぜそうなのか」と疑問を持って、自分で考えたり調べたりした	0.3	66.7%	66.4%
⑤ウェルビーイング	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	27.3	80.0%	52.7%	78.国際社会の課題解決に貢献したい	-21.1	40.0%	61.1%

2年生	強み（全国と比較して高い項目）	差（pt）	自校	全国	伸びしろ（全国と比較して低い項目）	差（pt）	自校	全国
①学習活動	14.地域の魅力や資源について考える	33.2	81.0%	47.8%	11.話し合った内容をまとめる	-3.0	76.2%	79.2%
②学習環境	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	36.0	92.0%	56.0%	25.地域の人や課題など、興味を持ったことに対してすぐに橋渡しをしてくれる大人	-9.5	84.0%	93.5%
③自己認識	53.自分で計画を立てて活動することができる	17.6	76.2%	58.6%	37.うまくいくか分からないことにも意欲的に取り組む	-19.3	56.0%	75.3%
④行動実績	71.授業で分からないことについて、自分から質問したり、分かる人に聞きにいったりした	12.8	88.0%	75.2%	76.公式やきまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした	-18.1	44.0%	62.1%
⑤ウェルビーイング	83.現在の日常生活に不安や心配事がない	10.3	60.0%	49.7%	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	-35.8	19.0%	54.8%

3年生	強み（全国と比較して高い項目）	差（pt）	自校	全国	伸びしろ（全国と比較して低い項目）	差（pt）	自校	全国
①学習活動	14.地域の魅力や資源について考える	30.4	80.6%	50.2%	10.自分の考えを文章や図表にまとめる	-8.8	55.6%	64.4%
②学習環境	29.地域の人や課題などにじかに触れる機会がある	25.9	83.3%	57.4%	33.目標や当事者意識を持って挑戦している人がある	-5.6	80.6%	86.2%
③自己認識	56.地域をよりよくするため、地域における問題に関わりたい	15.7	77.8%	62.1%	48.自分を客観的に理解することができる	-31.4	47.2%	78.6%
④行動実績	70.地域社会などでボランティア活動に参加した	22.1	47.2%	25.1%	76.公式やきまりを習う時、その根拠を理解するように、自分で考えたり調べたりした	-14.6	50.0%	64.6%
⑤ウェルビーイング	58.将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある	12.7	80.6%	67.9%	79.まだ世の中にない新しい技術やサービスを生み出してみたい	-18.6	38.9%	57.5%

生徒と大人の回答の差(生徒-大人）（生徒と大人の肯定的回答率の差が最も高い項目と低い項目を抜粋）

	生徒のほうが肯定的に感じている項目（大人のほうが否定的に感じている項目）	差（pt）	大人	生徒	大人のほうが肯定的に感じている項目（生徒のほうが否定的に感じている項目）	差（pt）	大人	生徒
	18.将来のことや実現したいことを話し合える大人がいる	35.0	52.9%	87.9%	90.この学校を中学生におすすめできる	-18.7	100.0%	81.3%

以下については、イメージです。活用例については変更する可能性があります。

今後の活用のステップ（例）

①教育目標や3つのポリシーに基づき、アンケート項目の中から重点項目を決める。

②その項目の肯定的回答率を見て、なぜこの結果になったか要因を関係者（教職員、学校運営協議会、学校活性化地域協議会等）と対話する。

■要因分析の視点（例）

・項目と関連する教育活動　・生徒／学校／地域の状況　・学校運営体制　・社会の変化　・日々の声かけ

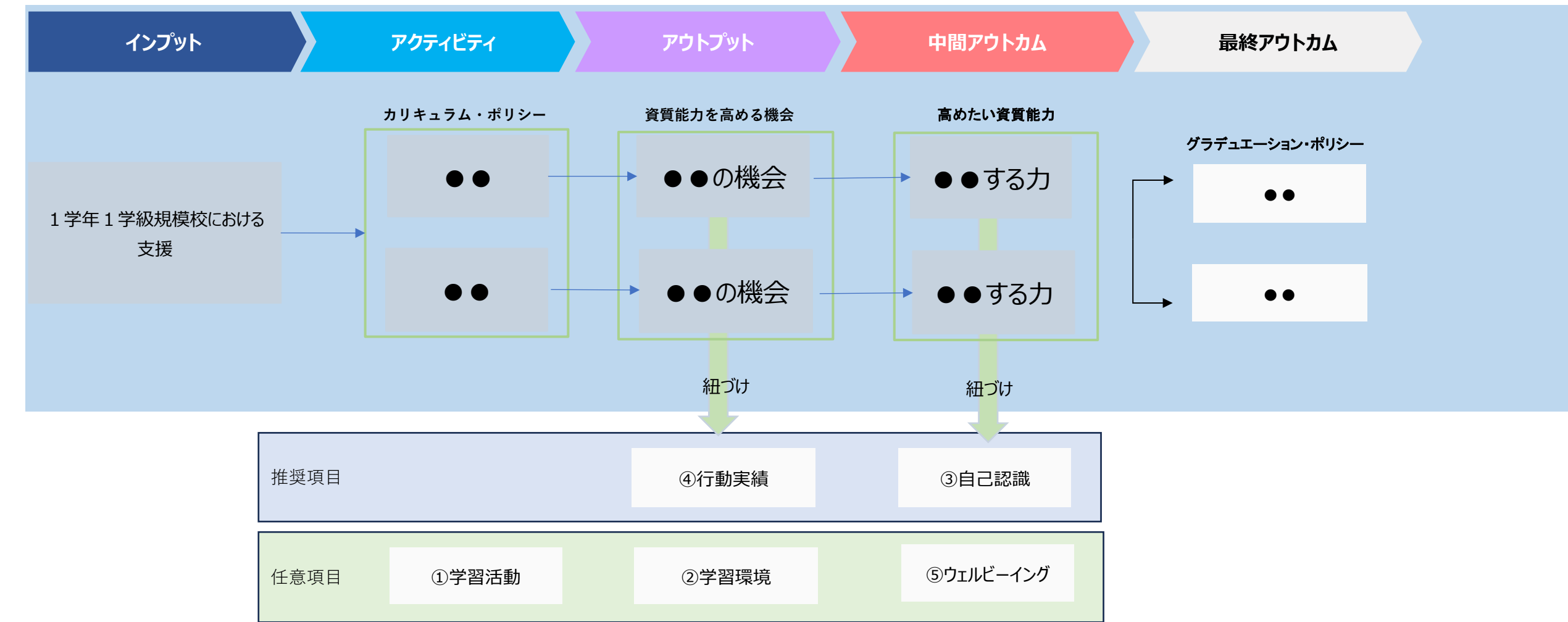
③対話を基に、取組の発展や改善に向けた具体的なアクションプラン（関係者間での共有・理解・納得、役割分担、スケジュール等）を考える。

④アクションの実行

⑤関係者間（教職員、学校運営協議会、学校活性化地域協議会等）での振り返り、評価

⑥教育目標やポリシー、重点項目、具体的なアクションプランの見直し

グラデュエーションポリシーとの結び付け方（例）



使い方の場面

職員会議での対話のヒント

◇強み

■各項目について、なぜ高い数値となっているか。（教育活動との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすればどのようなことが考えられるか。

■強みをさらに磨くためにどの部分を改善すればよいか。（アクションプランと振り返り）

◇伸びしろ

■各項目について、なぜ低い数値となっているか。（教育活動との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすればどのようなことが考えられるか。

■伸びしろ（課題）を改善するためにどのようなことに取り組みればよいか。（アクションプランと振り返り）

学年会での対話のヒント

◇強み

■各項目について、なぜ他学年と異なり高い数値となっているか。（教育活動との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすればどのようなことが考えられるか。

■強みをさらに磨くためにどの部分を改善すればよいか。（アクションプランと振り返り）

◇伸びしろ

■各項目について、なぜ他学年と異なり高い数値となっているか。（教育活動との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすればどのようなことが考えられるか。

■伸びしろ（課題）を改善するためにどのようなことに取り組みればよいか。（アクションプランと振り返り）

クラスでのディスカッションでの対話のヒント

■生徒がクラス内で、なぜ他校と比べて評価が高いのかもしくは低いのかを話し合う。

■自分たちが今後改善すべき点や取り組むべき活動についてアイデアを出し合う。

■クラスで決定した取組を1か月ごと（もしくは学期ごと）に見直し、どのような進展があったかを共有し、必要に応じて計画を修正する。

地域関係者との対話のヒント

◇強み

■各項目について、なぜ高い数値となっているか。（教育活動・学習環境との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすれば、その齟齬はなぜ生まれているのか。

■強みをさらに磨くためにどの部分を改善すればよいか。（アクションプランと振り返り）

◇伸びしろ

■各項目について、なぜ低い数値となっているか。（教育活動・学習環境との紐付け）

■数値と肌感覚に齟齬がないか。あるとすれば、その齟齬はなぜ生まれているのか。

■伸びしろ（課題）を改善するためにどのようなことに取り組みればよいか。（アクションプランと振り返り）